

(16) 障害学生支援室**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

障害学生支援室は、関係組織と連携を図りながら障害学生への全学的な支援体制を強化し、もって障害学生の円滑な修学に寄与することを目的として平成28年4月1日に設置された。

また、同支援室は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行（平成28年4月1日）に伴い制定した「国立大学法人上越教育大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応規程」において、障害学生の相談窓口として位置づけられている。

同支援室の業務内容は次のとおりである。

- i) 障害学生の支援方法及び支援制度に関すること。
- ii) 入学前の修学相談に関すること。
- iii) 障害学生のニーズの把握に関すること。
- iv) 障害学生に対応した施設等の整備に関すること。
- v) 障害学生支援情報等の公開及び支援の啓発に関すること。
- vi) 学内関係組織及び学外関係機関等との連絡調整に関すること。
- vii) その他障害学生の支援に必要な事項

イ 組織の構成及び構成員等

障害学生支援室は、室長及び室員で組織されており、室長は学長が指名した副学長、室員は、コーディネーターとして学長が指名した教員及び学長が指名した事務系職員で構成されている。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

平成29年度は、障害学生支援室会議を3回、障害学生毎に設置した障害学生支援連絡会議を3回開催した。

イ 審議された主な事項

- i) 障害学生支援室会議
 - ・ 障害学生支援室の業務
 - ・ 障害学生との合理的配慮の合意形成
 - ・ パソコンテイク・ノートテイク研修会、手話勉強会
 - ・ 全盲の視覚障害学生に関する支援
- ii) 障害学生支援連絡会議
 - ・ 障害学生（3人）からの合理的配慮申請に対する支援内容

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

- i) 障害学生からの合理的配慮申請に基づき、合理的配慮の合意形成を行い、学内の関係組織との連携により当該障害学生の修学支援、生活支援を実施した。
- ii) 聴覚障害の学生を支援するボランティア学生に関する説明会を4月に実施するとともに、パソコンテイク・ノートテイク学生を対象として、テイクスキル向上のための研修会を実施した。また、同研修会におけるアンケート調査で希望があった手話通訳について、学内の希望者を対象と

した勉強会を実施した。

iii) 障害学生支援室の室員に就職支援担当を追加し、障害学生の就職支援の連携強化を図った。

iv) 全盲の視覚障害学生の入学を想定し、修学支援、人的支援、環境整備に関する調査・検討を行った。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

新入生を主な対象として障害学生に係るボランティア説明会を実施するとともに、パソコンテイク・ノートテイク研修会及び手話勉強会を開催した。

全盲の視覚障害学生が入学した場合を想定した修学支援、環境整備等に関する調査・検討を行い、全盲の視覚障害学生への修学・生活支援のためには教職員の協力及び費用が必要となることが確認された。